

私がまちづくりスタッフです。

NO.18
一言会理事
外山 明さん
(向島五丁目)



江戸の頃、向島は四季折りの風情に富み、文人墨客がよく散策に訪れた。求めにに応じて出したお団子が名物、言問団子。外山さんはその老舗の副社長で、ゆくゆくは後を継いで六代目になられる。

情報公開制度懇談会の委員をはじめ、対外的なお仕事にも積極的に参加されている。区政への協力員(モニター)をなさ、た時、自転車の放置問題になり、「放置自転車条例」ができた。

学生時代の専門は翻訳。通訳もなさる。年に2、3回は海外に出かけられ、目ずとお話も国際的になる。

「歴史を感じる街が多いのはヨーロッパ。街並みが保存されている都市には、きち、とした条例がある。伝統を支えているのは、自分たち住民なのだという強いプライドが感じられますね。一寺言問も、地域にあった協定のようものができていかないと、まちの統一はとれにくいですね。」

お店では笑顔を決やさない。会合にはいつもスーツをビシッと決めて、タンディズムの香り。近々墨田区の「うまいもの本」を出すとか。(高原純子)

いちごのことい
一寺言問 / 防災まちづくり瓦版
第20号 平成2年3月1日発行
編集 / 一寺言問を防災のまちにする会・編集局
高原純子・若木菜枝・木田佳男・木田文代
編集協力 / ママ都市建築研究所
発行 / 一寺言問を防災のまちにする会・事務局
墨田区都市整備部開発促進課内
〒130 墨田区横綱1-6-1 tel.(626)3151



向島有季園情報

- 新規利用応募者殺到45
- 担当理事に隣の植竹さん

- ▶向島五丁目の防災小緑地・向島有季園の防災菜園平成2年度利用者の募集が1月31日締切られました。14区画に対して応募が45。約3.2倍の競争率。利用者は2月17日(土)、同園で公開抽選会によって決まります。
- ▶それから、向島有季園の隣に住む植竹モトさんが、新しく一言会理事(わいわい会所属)に加わり、向島有季園担当理事として利用者の相談、同園の運営・管理などに活躍していただくことになりました。
- ▶平成元年度の利用者からのお便りを紹介します。

●狭いながらも、ホッ!と救われる空間です。

一日中忙しく動きまわっている私にとって、有季園は狭いながらも「ホッ!」と救われる空間です。畑の手入れをしている時、通りかかるとりの人や、出前 某金の人達によく声をかけられ、ちよ、こり得意氣に作物の話などをするのも楽しみのひとつです。小さなコミュニケーションの場としても注目されていくのではないのでしょうか。

初回有季園の利用者申込人数の少なさに驚きましたが、後に開園式の写真が載ったりして、傍見知りの大勢の人達に羨ましがられ、瓦版を読まずに捨ててしまう人が多めに改めて驚いてしまいました。しかしその後有季園に関心を示す人が増えて、今では難の目度目のチャンスを狙っているようです。

瓦版は紙質にまで気を配られ、内容も身近な事柄を取り上げているので読み易く、楽しみにしています。ますますのご活躍を期待します。(東向島-丁目 橋本俊子さん)

●土が子供たちの身近なものになったのでは。

思いがけなく有季園を利用することかできて、本当にありがとうございました。保育園から近いこともあり、近隣散歩で園児が楽しみながら、収穫まで見ることができ、良かったです。いつもお給食で食べているミニトマト、ピーマン、ナスが本当はこんな園でできていて、パックに入っているのではないことも知らされました。子供との会話の中で、お母さんに今日トマト見に行、たんたよと子供なりに生前の楽しみもあり(他では経験できない)ことがこの有季園を利用してもらう。土が子供たちの身近なものになったのでは、と思います。子供達が有季園に行き、にきやかさきで近所の方に迷惑をかけたことと思ひ、反省していますか。私たちの身近な墨田に利用できる畑があったことを感謝しています。約一年間利用させてもらい、とてもありがとうございました。(寺島保育園 浅野啓子先生)

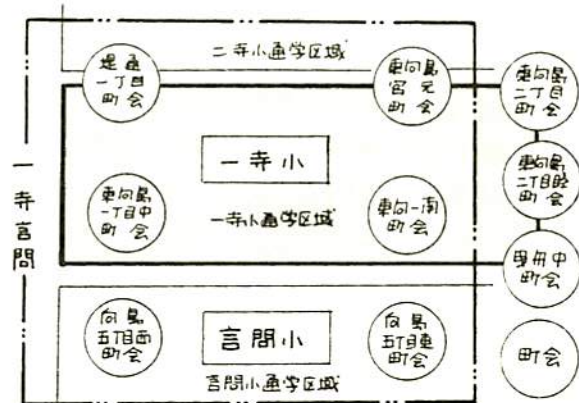
一寺小学校地域防災情報連絡会

東京を襲った関東大震災から66年。関東大震災級の地震はいつ来てもおかしくないといわれています。

先立って、若年の同僚のサンフランシスコで起きた震災は、皆様の記憶に新しいことでした。現代の都市機能が地震に対して脆弱にも弱く、災害時における情報伝達なども重要であることか、今回の地震も改めて報道されておりました。このことは、対策の火事としておしまいにしてしまうのではなく、正に私達の教訓としておぼろげに思い出していただく。

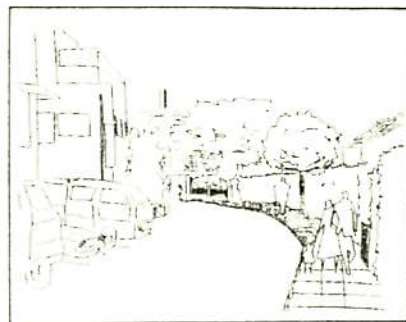
さて、私も各町会におきましては、従来の防災に対する対応を図ることでおぼろげに、これを機会に、町会と小学校とPTAと区、の担当者が集まり、防災に関する情報交換の機会を開きたいと考えています。

～(仮称)一寺小学校地域防災情報連絡会、開催の呼びかけ～

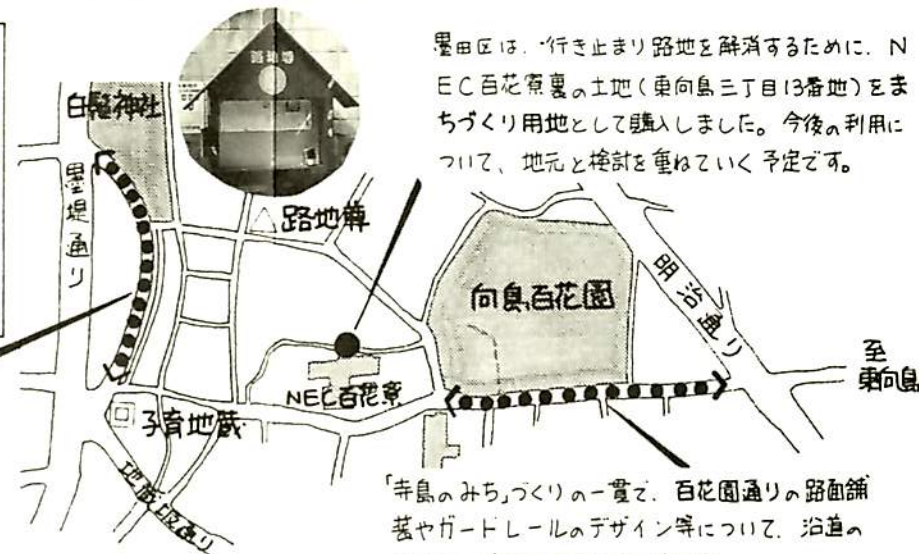


七福神めぐりに朗報! 整備進む百花園界隈

- 新生「旧墨堤之道」11月13日月末、完成!
- 百花園通り等の整備、地元と検討開始へ



足かけ3年検討を重ねてきた旧墨堤之道(子育て地蔵～白髭神社)の改良整備が11月13日月末に完成します。皆さん大変永らくお待たせしました。



墨田区は、行き止まり路地を解消するために、NEC百花園の土地(東向島三丁目13番地)をまちづくり用地として購入しました。今後の利用について、地元と検討を重ねていく予定です。

「寺島のみちづくり」の一環で、百花園通りの路面舗装やガードレールのデザイン等について、沿道の皆さんと検討をすすめていきます。

「墨田区では新しい防災情報システムを開発し、災害時に区内の情報更新システムの防災センターに集約、無線で学校へ情報伝達する仕組みができる。災害時に六十回検使用できることが新たに認められたもの。全国初の試みである。今後の課題は、学校からのようにして地域に伝えるか。」

「一寺小の消防計画では、生徒の第一次避難場所として一寺小、第二次避難場所として墨田区立第三中学校を白髭東防災団地にして、これは一寺小サイドの対応策として決めたものである。」

- ① 一寺小を中心とした情報伝達の方法などを検討していくにあたって、まずお互いに防災に関する情報交換をしていく。
- ② 一寺小の通学区域を持つ町会からそれぞれ選ばれた代表(各町会から四名以内)により構成する。一寺小学校長や一寺小PTA会長、墨田区防災課にも参加してもらう。
- ③ よそから講師を呼んだり、互いに意見交換するなど、年に何回か会合を開く。
- ④ 消防署や警察署、企業などの参加については、良し、検討する。

4. 関原二・三丁目地区まちづくり連絡会

- 代表者名 斎藤武雄
- 連絡先 足立区関原3-36-4 Tel 986-6475
- 結成時期 昭和61年8月
- 対象地区 足立区関原二・三丁目地区

関原地区では、老朽木造家屋の密集、田がりくわ、た狹隘道路等、防災に住環境にと79の問題を抱えている。地区住民は「災害に強い逃げやすいまちづくり」を合言葉に、「関原二・三丁目地区まちづくり連絡会」を結成。会では、防災点検まち歩きを行い、現状を再認識するとともに、各種整備や、地区住民への防災に対する啓蒙活動を自主的に、或は行政と一体となり、推進にあたっている。

5. 林試の森周辺地区防災まちづくり協議会

- 代表者名 斎藤全輔
- 連絡先 目黒区下目黒3-14-17 Tel 712-6202
- 結成時期 昭和61年9月
- 対象地区 目黒区下目黒3・4・5・6丁目、目黒本町1・3丁目

協議会をつくって3年半。その前の陳情が契り、林試跡地は「遊憩場所を兼ねた都市公園として整備」することが決まり、私たちのまちの防災まちづくりがスタートしました。いろいろな人と話し合い、まちを点検し、たくさんの夢を盛りこんだ計画をつくりました。その後、小さなポケットオアシスや道づくりを通して、よりきめ細かな話し合いが持たれています。「歩みながら、話し合い、考え抜く」、これが防災まちづくりではないかなあと感じています。

6. 一寺言問を防災のまちにする会

- 代表者名 則武勝彦
- 連絡先 墨田区東向島1-10-13 Tel 611-8271
- 結成時期 昭和61年12月
- 対象地区 墨田区向島5丁目、東向島一・三丁目 堤通1丁目

略称、「一言会」。地元六町会と有志組織「わいわい会」により構成。各団体から選出された28名の理事が、まちづくりプロジェクト推進の世話役として地元の人たちに提案し、行政といっしょに計画を練るシステムが確立。プロジェクトは、路地帯（防災路見）や向島有季園（防災小緑地）、旧墨堤之直の整備など、様々な下町文化を大事にしながら、時代の流れに敏感な発想で取り組んでいる。その様子は毎月開かれる理事会で報告され、反響を轟かせて全世帯に伝えられる。

1. 北沢地区まちづくり協議会

- 代表者名 加藤義秀（会長）
- 連絡先 野元運男（副会長） Tel 446-9610
- 結成時期 昭和55年10月
- 対象地区 世田谷区北沢3・4丁目地内

防災に強いまちづくりを目指し、地区住民により、まちづくりを検討。その結果を「北沢地区まちづくりに関する提言」として区長に提出した。世田谷区はこの提言を受け、まちづくり計画を作成した。協議会もこのまちづくりを実現させるため、3フロアに分かれ活動している。この活動により、公園づくり、道路づくりが進んでいる。

2. 太子堂地区まちづくり協議会

- 代表者名 藤村貞夫
- 連絡先 梅津政之輔 Tel 421-4117
- 結成時期 昭和57年11月
- 対象地区 世田谷区太子堂2・3丁目地区

安全で住みよいまちづくりを目指して、地区住民等で検討。昭和60年2月に区長に対し、まちづくりに関する10の提案（まちづくり中間提案）を提出。それ以降「広場・緑道部会」「建て方のルール部会」を組織し、いえづくり、みちづくり、ひろばづくり等に取り組んでいる。

3. 東池袋4・5丁目地区まちづくり推進協議会

- 代表者名 富樫泰明
- 連絡先 豊島区東池袋4-16-5 Tel 982-0837
- 結成時期 昭和59年2月
- 対象地区 豊島区東池袋4・5丁目地区

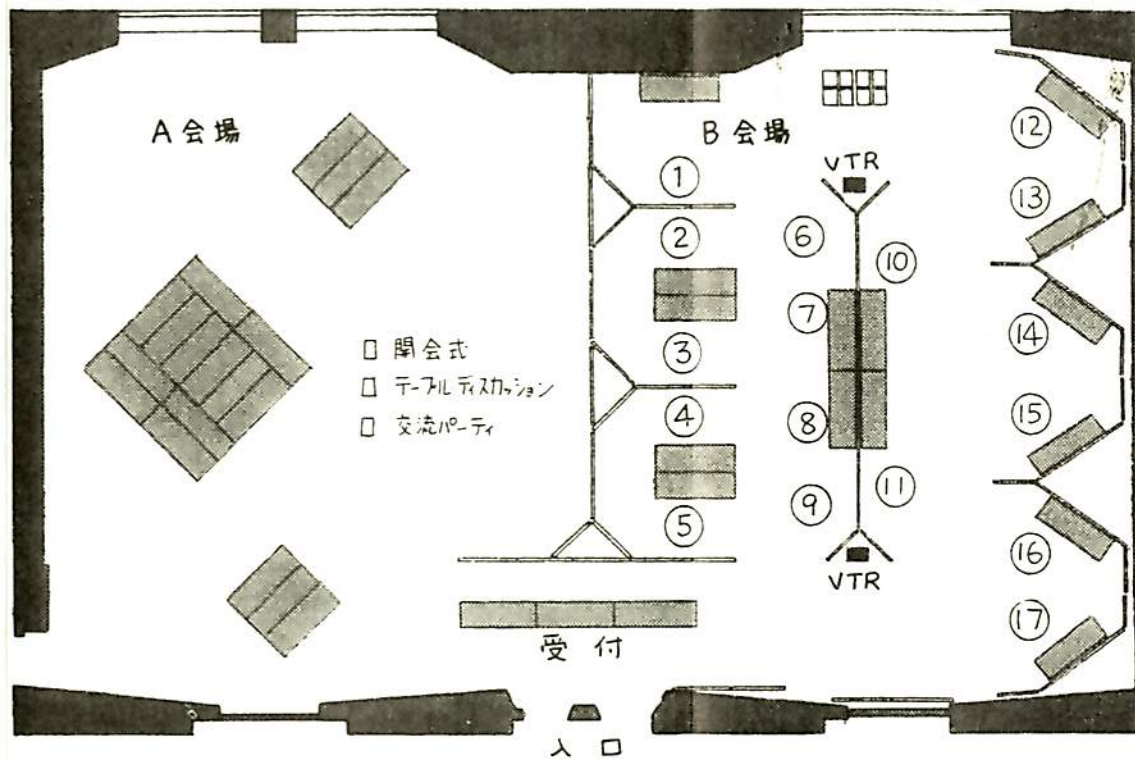
地元有志35名で「東池袋4・5丁目地区まちづくり協議会」を発足。昭和62年4月、「東池袋4・5丁目地区まちづくり推進協議会」に発展的に改組された団体になる。構成は、地元有志、地元関係団体等。活動は、①地元住民のアイデアによる広場作成とオーブンセシモノー、清掃及び管理 ②協議会活動状況のニュースを年4回、当地区全戸に配布 ③毎年6月に3日間まちづくり祭を開催 ④防災活動の主要な道路としての防災道路整備



- 開会式（A会場）13:30-13:50
あいさつ、参加団体、企画内容の紹介
- テーブルディスカッション（A会場）14:30-16:00
「東京の防災まちづくりについて」
実行委員会参加のまちづくり住民団体（13団体）のリーダーたちが、東京の防災まちづくりに関する課題について様々な角度から卒直に意見を交換し、熱心なディスカッションをおこないます。皆さんももちろん議論の参加者です。A会場の大きなテーブルを囲んで、14:30スタートです。
- 防災まちづくり展示会（B会場）
実行委員会参加のまちづくり住民団体がそれぞれ自作のパンフレット、模型などを持ち寄り、展示会を開きます。まちづくり活動を紹介するビデオ放映もあります。各団体の展示は下の案内図に位置をおこないます。
- 交流パーティ（A会場）16:30-18:00
お酒を片手に楽しくまちづくり談話。行政のまちづくり担当者や専門家も参加。各地のまちづくり自慢を聞けます。出し物は地元一寺言問の伝言「慶堂（おしわ）木版」会費は無料。お気軽にご参加下さい。
- 一寺言問まち歩き 10:30-16:30
ガイドマップ「一寺言問地区」を用意しています。

● 会場案内図

(当日一部変更する場合があります)

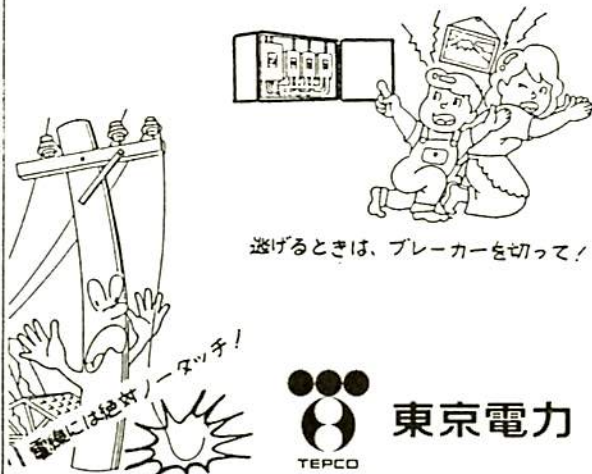


- ① 一寺言問を防災のまちにする会（一言会）* [墨田区]
- ② 北沢地区まちづくり協議会* [世田谷区]
- ③ 太子堂地区まちづくり協議会* [世田谷区]
- ④ 関原二・三丁目地区まちづくり連絡会* [足立区]
- ⑤ 南台四丁目東地区防災まちづくり協議会 [中野区]
- ⑥ 高木町自治会防災部会* [国分寺市]
- ⑦ 西久保二・三丁目地区まちづくり協議会 [武蔵野市]
- ⑧ 東池袋四・五丁目地区まちづくり推進協議会* [豊島区]
- ⑨ さんし会 [杉並区]
- ⑩ 北山地区まちづくり協議会 [府中市]
- ⑪ 墨田区・建築不燃指導室 緑化係
- ⑫ 林試の森周辺地区防災まちづくり協議会 [目黒区]
- ⑬ 林試の森周辺地区防災まちづくり林試の会 [品川区]
- ⑭ 上板橋駅南口地区まちづくり協議会 [板橋区]
- ⑮ 東京電力
- ⑯ 東京ガス
- ⑰ N T T

(* まちづくりを紹介するVTR放映(20分程度)があります)

災害時の電気安全

地震



11. 南台四丁目東地区防災まちづくり協議会

- 代表者名 佐久間栄三
- 連絡先 中野区南台4-25-14 Tel 381-1051
- 結成時期 昭和62年9月
- 対象地区 中野区南台四丁目東地区 約9.7ha

当南台四丁目東地区は、区の提案(“南部地域防災まちづくり構想”のモデル地区)を受けて、昭和60年2月、住民の参加によるまちづくりがスタートした。1年半にわたる準備会の活動を経て、昭和62年9月、“防災まちづくり協議会”が結成され、平成元年2月、“南台四丁目東地区防災まちづくり計画案”を区に提出した。現在は、その後、区より提案された“南台地区(南台1,2,4丁目)まちづくり計画案”の検討・調整の段階にある。

9. 北山地区まちづくり協議会

- 代表者名 横田泰弘
- 連絡先 府中市北山町3-23-1 Tel 0425-72-3503
- 結成時期 昭和62年7月
- 対象地区 府中市北山町1,2,3,4丁目(約106,000坪)

当北山地区は府中市の西北部に位置し、国立市に隣接した35ヘクタールの面積を持つ住宅地と商業地区の混在するところである。北山地区まちづくり協議会は道路の幅員整備を中心に、まちの活性化と地域住民による豊かで住みよいまちづくりを理想に、昭和62年7月会員数41名で発足し、現在協議会内に道路部会、広報部会を設置し、それぞれの責任と役割を分担し、活動しております。

7. 西久保二・三丁目地区まちづくり協議会

- 代表者名 佐藤孝夫
- 連絡先 Tel 0422-51-8254
- 結成時期 昭和62年5月
- 対象地区 武蔵野市西久保二・三丁目

まちづくり講座4回、まちづくり先進地区等見学会3回、まちづくりまつり2回、地区住民の意向調査のためのアンケート調査6回、みち部会、こどもとひろば部会等部会活動、まちづくり憲章制定、地区計画制度学習会、広報活動としてまちづくりニュース第22号まで編集・発行。

TOKYO GAS

お住まいへのお願い!

大きな地震が発生したときは、



深川営業所 TEL 634-1111

★災害時、皆さんへのお願い★

12. 上板橋駅南口地区まちづくり協議会

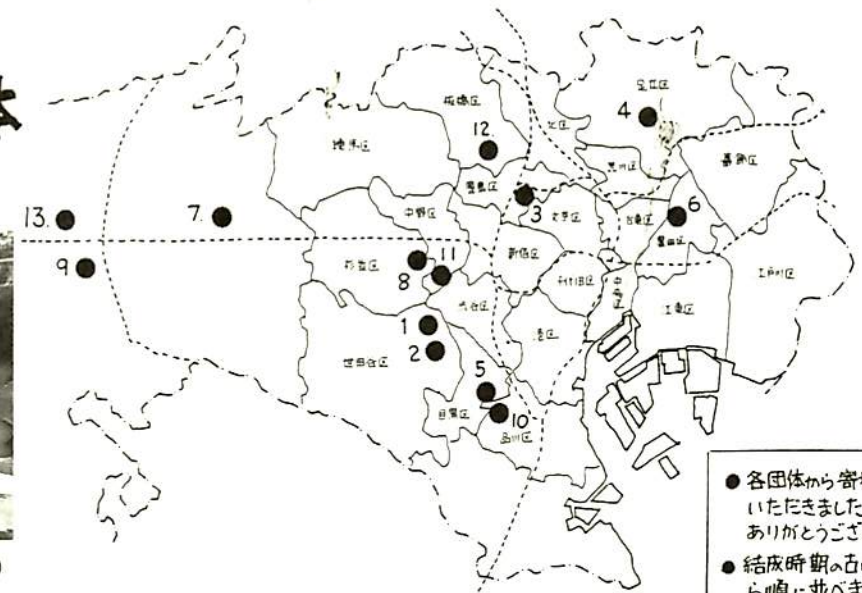
- 代表者名 荒川忠久(会長)
- 連絡先 事務局 板橋区都市整備部地域整備担当 Tel 579-2559
- 結成時期 昭和63年6月
- 対象地区 上板橋駅南口地区 約20ha

上板橋駅南口地区まちづくり協議会は、平成元年4月、一年間のまちづくり活動のまとめを区長に提言し、この提言を受けた板橋区からは、まちづくり計画の大枠として「区の基本となる考え方」が協議会に提案されました。現在は「より安全で快適な魅力あるまち」の早期実現に向けて住環境、商店街、駅前前三部会の中で整備の具体策を探っています。

実行委員会参加の まちづくり住民団体 プロフィール(横瀬)



まちの点検会(太子堂地区まちづくり協議会)



●各団体から寄稿していただきましたありがとうございました。
●結成時期の古い方から順に並べました。

13. 高木町自治会 防災部会

- 代表者名 熊谷政子
- 連絡先 国分寺市高木町1-6-30 Tel 0425-72-2532
- 結成時期 昭和56年2月
- 対象地区 国分寺市高木町1~3丁目

1. 災害危険地図作成と配布 2. 防災まちづくり通信の発行(通算60号) 3. 地区防災計画の策定 4. 防災部会・定例役員会開催(毎月各1回) 5. まちづくり学習会の実施(3~4回/年) 6. 防災子ども広場の実施(2回/年) 7. 防災コンクールの実施 8. 応急手当講習の実施(5~6回/年) 9. 町内環境点検の実施 10. 重量べいの生垣フェンスへの改善運動 11. 川橋神社境内の環境整備

10. 林試の森周辺地域、防災まちづくり林試の会

- 代表者名 田島治三郎
- 連絡先 品川区小山台1-7-9 Tel 713-2888
- 結成時期 昭和62年8月
- 対象地区 品川区小山台1-2丁目、西五反田4丁目

月2回の行政をまじえた防災まちづくりに関する会議が主な活動である。拠点施設・整備、都立公園への要望、道路整備等のまちづくり計画の大事な問題は「提言」書にまとめ、区や都などに申し入れるとともに、年数回発行の「まちづくり通信」で周知を図っている。本年春に完成する(仮称)防災まちづくり拠点施設の運営を会として行うことが当面の重要課題である。

8. さんし会

- 代表者名 小池 曜
- 連絡先 杉並区和田3-27-2 Tel 312-0948
- 結成時期 昭和62年7月
- 対象地区 杉並区和田3丁目 蚕糸の森公園周辺

杉並区が「学校防災公園構想」に基づいて、蚕糸試験場跡地に建設した蚕糸の森公園及び杉並第十小学校は災害時の一時避難地に指定されているが、一般的には防災施設としての認識が薄い。そのため、会では防災機能の維持、公園使用上のモラルの向上のため、施設の点検、利用者への一声運動、施設充実の提案等を行って、具体的には定期的なパトロール、交通調査等を行って、います。

災害時 電話の大混雑 を起こさないための NTTからのお願い

電話がかかりにくい時は、しばらく
待ってからおかけください。

NTT 墨田支店



ひつじ年のお知らせ

平成3年、ひつじ年の1月1日、東京03地域の
3ヶ市市内居書の前に、3がつきます。